

9/26

ごうぎんと「パートナーシップ協定」締結

日南町と佛山陰合同銀行は、持続可能な地域社会の形成と行政サービスの実現を目的として、パートナーシップ協定の締結を行いました。協定締結式では、中村町長と同行米子営業本部長の吉岡佐和子さんが協定書への署名を行いました。

同行は平成25年に日南町J-クレジット地域コーディネーターに就任し、以来数多くの契約締結に尽力してくださっています。今年3月には、日南町のJ-クレジットの取り組みによる実績が認められ、内閣府による「第1回地方創生SDGs金融表彰」を日南町と同行が連名で受賞しました。

この度の協定により、今後は地方創生やSDGsの推進に向けた取り組みを共に推進していくこととしています。



10/1

総合防災訓練

全町で行う総合防災訓練が3年ぶりに行われました。台風や新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず2年連続で中止していましたが、今年は規模を縮小しての開催となりました。

今回の訓練は、豪雨による大規模災害時の対応と、感染症が収束しない状況での避難所開設についての対応を目的として行いました。訓練では、被災状況や復旧作業状況等を現地から動画で伝送する「KU-SAT」やドローンなど、デジタルを活用した災害対応が行われました。

訓練の反省点を活かしながら、今後も町民のみなさんの安心・安全に努めていきます。



10/6

10/10

和牛のオリンピック出場

鹿児島県霧島市で開催された第12回全国和牛能力共進会に、鳥取県代表として山形美智也さん（上萩山）の「いとはな号」が出品されました。「いとはな号」が出品されたのは種牛・肉牛10頭1組で品種改良の成果を競う6区（総合評価群）で、大会の「花形」と呼ばれています。

前回大会以上の成績を目指し臨みましたが、結果は惜しくも10位となりました。ハンドラー（牛の引き手）として出場した山形さんの長男・俊樹さんは、「初めての出場で緊張したが、牛も落ち着いてくれて良かった。チャンスがあれば5年後の北海道大会にも挑戦したい」と、新しい挑戦に向け力強く話していました。

9/25

国際交流フェスティバルに出演

世界各国の文化を知ることができる国際交流イベント「よなご国際交流フェスティバル2022」が米子市文化ホールで開催されました。イベントでは展示やステージパフォーマンスなどが行われ、ステージパフォーマンスには霞音楽会が出演し銭太鼓を披露しました。霞音楽会には、交流支援員のエリデネジャブ・ノミンさんと外国語指導助手のミンティエロ・ルチアナ・ティラミスさんも参加しており、ノミンさんは「にぎやかでとても楽しかった。展示にもたくさんのお客さんが来てくださってうれしかったです」と話していました。



9/27

JAXA職員による特別授業

子どもたちに宇宙に興味を持ってもらおうと、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の職員によるオンライン特別授業「宇宙ってどんな世界？」が、県内12の小学校で行われました。この特別授業は、鳥取県が指定する「星空保全地域」にある小学校を中心に行われ、日南小学校では4・5・6年生の児童が参加しました。授業ではJAXA広報部特任担当役・宮里光憲さんが講師を務め、宇宙飛行士や宇宙食についてなど、宇宙に関するさまざまな内容の話がありました。

子どもたちは、はじめて聞く話に興味津々の様子で聞き入っていました。



9/2

10/3

石見まち協で「僕と私の結婚式」写真展

9月2日から10月3日までの間、石見まちづくり協議会が主催する「僕と私の結婚式」写真展が、石見地域振興センターで行われました。石見まちづくり協議会はこれまでもユニークな写真展を開催しており、今回はその第3弾となる企画として行われました。

この写真展は、地域住民を中心に結婚当時の記念写真を募集し展示したもので、若き日の新郎新婦の写真など約120点が展示されました。



9/13

郵便局長夫人会から「なかよし教室」へ文具のプレゼント

伯耆地区郵便局長夫人会日野部会から日南町放課後児童クラブ「なかよし教室」に対し、ノートやメモ帳、筆記用具などの文具やタオルなどが寄贈されました。これは、同会で毎年行っている日野郡内での地域貢献活動の一環として行われたもので、今年は日南町の「なかよし教室」が対象となりました。贈呈式では片岡真由美さん（生山）と中島美香さん（生山）から代表の児童たちに寄贈品が入った箱が手渡され、片岡さんは「子どもたちに使ってもらえればうれしい」と話していました。



9/22

秋の全国交通安全運動出発式

9月21日から9月30日の「秋の全国交通安全運動」にあわせ、日南町でも出発式と街頭啓発活動が行われました。今回の重点項目は、①子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保、②夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶、③自転車の交通ルール遵守の徹底の3項目でした。街頭啓発活動では、ショッピングスクエアパセオの駐車場でチラシや反射手袋などを手渡し、店を訪れた人に交通安全を呼びかけました。

9月は県内で3件の交通死亡事故が発生しており、黒坂警察署の砂澤俊吾署長は「悲惨な事故をなくすため、早めのライト点灯などを呼びかけましょう」と話していました。



9/4

本物にふれよう！楽しもう！「アートスタート」事業

子育てサークルカンガルークラブの主催により、総合文化センター多目的ホールを会場に「アートスタート」事業が開催されました。「アートスタート」とは、0歳から就学前の子どもたちが、大好きな人とともにプロの舞台を楽しむ「アートとの出会いの場」をつくる活動です。この日は、山陰で活躍する音楽ユニット「マイトリー」による「Warabe-uta Party」が行われ、さまざまな仕掛けが詰まったわらべ歌のステージを親子で楽しみました。

参加した親子は、「手遊びや楽しい仕掛けに、『次は何かな？』と夢中になるうちに、時間があっという間に過ぎた」「包み込まれるような優しい歌声に癒され、親子でとても良いひと時を過ごさせてもらった」と話していました。

カンガルークラブと日南町子育て支援センターでは、今後も「アート」の本物に出会う機会を作り、親子で楽しめる場を提供していく予定です。みなさんも親子で一緒に参加してみませんか。



9/13

日南小 りんご収穫体験

阿毘縁にある林富實代さんのりんご園で、日南小学校の1年生と5年生の児童がりんごの収穫体験を行いました。6月には袋掛けを、8月にはりんごに模様を作るためのシール貼りをし、ついに収穫期を迎えました。台風の影響が心配されていましたが、子どもたちが手がけたりんごは無事に収穫することができました。参加した児童は「採れたてのりんごはおいしい」と話していました。10月中旬には5年生の児童がりんごの木の根元に肥料をやり、りんご栽培体験の一連の作業が終了します。

